

学校だより

2月号

赤見っ子

赤見台第一小学校 令和7年1月31日(金)
鴻巣市赤見台4-19-1 TEL 048-596-1688
<https://akal-e-konosu.edumap.jp> FAX 048-597-0265

学校教育目標

(あ) 明るい心で 助け合う子
(か) 体も心も たくましい子
(み) 自ら学ぶ かしこい子

～テキパキにここに赤見っ子～



家庭は、習慣の学校！

校長 林 義典

2月2日(日)は「節分」、そして、翌日3日(月)は、「立春」です。あれ、「節分」は3日で、「立春は」は4日では？と思った方も多いのではないのでしょうか。4年前にもこの一日前倒しが124年ぶりということで話題になりましたので記憶にある方もいらっしゃると思います。理由は、閏年と同様に、地球が太陽を一周する時間が365日ちょうどではないための「ずれ」を調整するためとのことです。前回は124年ぶり、今年は4年ぶりというこのスパンの違いなどは、子供たちの天体への興味付けにしたいものです。

さて、2月3日は、福沢諭吉の命日で「雪池忌(ゆきち)」でもあります。福沢諭吉と言えば旧一万円札の肖像、そして「学問のすすめ」で「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」で有名ですが、「一家(家庭)は習慣の学校なり、父母は習慣の教師なり」もよく知られています。これは、家庭教育の重要性を説いたものと言えるでしょう。現行の教育基本法には、「父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする」と家庭教育について明記されています。いつの世でも、父母、保護者の価値観、感情表現、行動様式などは、家庭教育を通して子供に大きな影響を与えます。習慣もその一つです。福沢諭吉は「教うよりも習いと云う諺あり」を引用し、「習慣の力は教授の力よりも強大なる」「父母の教えは学校教師の教えよりも深切なる」と、家庭教育や父母、保護者の役割の大切さも説いています。また、「子は親のいうとおりにほしない、するとおりにする」なども子育ての教訓として耳にします。子育てに「キャンセル」「リセット」「スキップ」などはありません。「よい習慣」をつけてあげられるのは「今、このとき」です。ご家庭におきましても、例えば「あいさつをする」「整理整頓をする」「持ち物の用意、確認をする」「宿題、家庭学習や遊ぶ時間を決めて守る」など、今一度確認し、「凡事徹底」(当たり前のことを当たり前に行う)をお願いいたします。